

月05日-01号

◆今井俊哉 委員

リトリート推進について、モデルプランの予約のあった2件の予約者について、性別や年代などの属性と、今回プランを販売するに当たって利用した宣伝媒体について伺いたい。

◎福田 観光魅力創出課リトリート推進室長

年齢等の詳しい属性は不明だが、それぞれ男女2名の申し込みであった。宣伝媒体については、「じゃらん」に特集ページを掲載している。群馬県の観光公式サイトである「観光ぐんま」においてもPRを行っている。その他、当課のX（旧 Twitter）やフェイスブック、インスタグラム等を活用した情報発信や、旅行雑誌へ記事掲載もしている。

◆今井俊哉 委員

販売プランを造成した主体はどこか。民間事業者がどのぐらい絡んだか、その辺を伺いたい。

◎福田 観光魅力創出課リトリート推進室長

販売プランは、宿泊事業者、地域の観光協会を中心に、市町村、県が加わり、造成を行った。

◆今井俊哉 委員

今後の展開を検討するに当たり、想定しているターゲット層に果たして情報が届いたのかどうかということをもまず考えなければいけないのかなと思う。今後の宣伝戦略を工夫する必要があると思うがどうか。

また、プラン造成に当たり、ターゲット層がどんなところに魅力を感じているかを的確に把握し、県外の方の目線から見た群馬県の魅力と地域の資源とのマッチングをしていく必要があると思うがいかがか。

◎福田 観光魅力創出課リトリート推進室長

想定しているターゲット層に情報を届けられるよう、戦略的な情報発信を検討していきたい。また、今回のモニターツアーの参加者から、プランを評価してもらう予定である。県外の方の目線や評価を今後のプラン造成に生かしていきたい。

◆今井俊哉 委員

赤城山景観ガイドラインについて、過去に類似する計画はあったか。

◎石井 自然環境課長

類似するものはなかった。

◆今井俊哉 委員

協議会の構成員となる「地元住民」とは、具体的にどのような人を想定しているか。

◎石井 自然環境課長

地元住民とは、自治会の方を中心に想定しているが、自治会員でない土地所有者にもお声がけしたいと考えている。

◆今井俊哉 委員

温泉文化のユネスコ無形文化遺産登録推進について、今後、議員に出席を要請する行事はあるか。

◎山中 文化振興課温泉文化推進主監

機運醸成の一環として、今年12月に温泉文化フォーラムを予定している。